

令和3年度 特定防衛施設周辺整備調整交付金事業

交付金事業名	特定防衛施設周辺整備調整交付金事業（9条交付金）
事業名	キャンプ・シュラブ(キャンプ・ハンセン含む)関連公共用施設整備事業 教育文化施設:屋我地ひろぎ学園ほか5校物品購入
実施主体	名護市教育委員会 教育施設課 管理係 TEL0980-53-5441
事業の目的	本事業を実施することにより、児童生徒の学習環境の整備を図り、学習意欲の向上に寄与する。
事業概要 及び位置図	<p>全体事業概要：「屋我地ひろぎ学園ほか5校物品購入」</p> <p>購入備品：カーテン、工作台・実験台・角イス</p> <p>対象校：屋我地ひろぎ学園、真喜屋小学校、羽地小学校、屋部小学校、大北小学校、屋部中学校</p> <p style="text-align: center;">事業位置図</p> 

屋我地ひるぎ学園ほか5校に工作台・実験台・角イスを整備。

屋部小学校



カーテン

真喜屋小学校



カーテン

羽地小学校



カーテン

大北小学校



カーテン

屋我地ひるぎ学園



工作台

屋我地ひるぎ学園



角イス

屋我地ひるぎ学園
ほか5校物品購入
(写真)

屋我地ひるぎ学園



実験台

屋部中学校



実験台

屋部中学校



角イス

事業の評価

- 工作台、実験台、各イスが整備されたことで、基本的な学習環境が整いました。
また、カーテンが設置されたことで、西日が差し込む午後の授業も集中して、授業を受けられる環境が整いました。
- 以前は、カーテンがない窓もあり、光を通すカーテンだったので、保健室で休む児童がゆっくり休める状態ではなかったが、遮光カーテンになったことにより、太陽の差し込む時間帯であっても、適度に遮光され、休めるようになった。児童の安心できる学校生活につながっており、健康維持に役立っている。
- 視聴覚機器を使用し授業を行う際、TV画面の反射が抑えられ、画面が見やすくなった。
- カーテン設置後、まだ日差しの強い季節は迎えていないが、強い日差しを遮る効果が期待できる。
- 学習時、大型TVを使用する際、反射を防ぐことができ、どの位置の座席の児童も視覚的に捉えやすくなった。
- 光が遮断され、黒板、テレビ、児童用PCの見えづらさが解消され、授業に集中して取り組めるようになった。
- 教室を更衣室として使用することが可能となり、更衣への配慮・感染症防止につながった。
- 外部刺激が軽減され、教室を飛び出す児童が減ってきた。